



本間としえ (公明党)

プラスチック資源循環促進法施行後の多摩市の役割について

- 問** プラスチック資源循環促進法施行後の市の役割を伺う。
- 答** ホームページ・啓発紙やイベント等で、先進的な取り組み等を紹介し、エシカル消費のきっかけを作る。
- 問** ペットボトルからペットボトルにリサイクルする水平リサイクルの協定を、自治体と事業者間で締結すべきと考えるがいかがか。
- 答** メリットが多く、重要な事であり着実に進めていく。
- 問** ペットボトル自動販売機リサイクルボックスの異物混入は、リサイクルの妨げになっている。問題解決のために、行政は事業者と連携して、実態調査やマナー向上の意識啓発を進めるべきではないか。
- 答** 業界と情報共有を行い、市民協働のごみ減量の輪に入って頂くなど、協力して啓発を進めたい。
- 問** 多摩市プラスチック削減方針に、「リサイクルボックスに一般ゴミを入れないように」と追記できるか。
- 答** 広報や啓発紙等でリサイクルボックスへの異物混入防止の啓発を検討し、方針自体の修正も検討する。



安斉きみ子 (日本共産党)

1. コロナ禍で見えてきた地域医療の大切さ
2. 諏訪・永山の住宅政策について

- 問** 日本医科大学多摩永山病院や多摩南部地域病院のコロナ患者の受け入れ状況を伺う。
- 答** 2つの病院の2月中旬の状況は、コロナ病床の4割程度の受け入れで、落ちついている。
- 問** 第6波の感染拡大への市の対応を伺う。
- 答** 市で「新型コロナ電話相談」を開設。また自宅療養者に支援物資を届けている。地域の医療機関が自宅療養を支える一翼を担っている。
- 問** 厚生荘病院の再開を求める地域の声がある。建替えは労働者の解雇の理由にならない。市の病院再開への働きかけを伺う。
- 答** 最良の再開決定がされるよう見守る。
- 問** 都営住宅やUR賃貸住宅の住み替え状況を伺う。
- 答** 都営住宅の地元募集は4倍から20倍の競争。諏訪のUR賃貸住宅の建替えに伴う入居希望者は3分の1程度だと聞く。
- 問** 耐震基準を満たした分譲団地の建替え補助について伺う。
- 答** 市も国の基準を踏襲する。整理して令和4年度に周知する。



しらた満 (フェアな市政)

1. 多摩市役所本庁舎建替
2. CO2削減と行政財産の貸付
3. コロナ禍とゴミや食品ロスを減らす多摩市の努力

- 問** 気候非常事態宣言でCO2ゼロをめざす市の庁舎建替基本構想策定における有識者懇談会に、温暖化対策の専門家がいない理由を伺う。
- 答** 基本構想・計画・設計・実施設計で具体化を考える。
- 問** 現在の庁舎は安全なのか。耐震工事から今までの工事は無駄にならないのか、また総額はいくらか伺う。
- 答** 一定の安全を確保しており、総額は平成19年から約12億円である。
- 問** 現在の庁舎の狭あい化対策をどう考えるか。
- 答** 第二庁舎、東庁舎にある部署を民間施設に移転することも考える。
- 問** 屋根貸しの設置状況、収入、発電量、売電先を伺う。
- 答** 令和2年度で9施設、約59万円の収入となる。東京電力エナジーパートナーに約43万2kwhを売電し、地産地消の取組みを行っている。
- 問** 食品ロスの削減はSDGsの何番か、また削減に重要な課題は何か。
- 答** 12番の「つくる責任つかう責任」にあたる。廃棄物の発生防止、再利用が課題である。
- 問** 学校閉鎖時の食材や牛乳を、事故のあった原子力発電所周辺の家畜の食糧等に使用するなど、民間事業者の知恵を借り削減に取り組むべきではないか。
- 答** 事業者からのアイデアを募っていく。



出典：政府広報オンライン



「シャガの花」撮影場所：多摩中央公園



「親子で散歩」撮影場所：乞田川 ともに撮影者：AMさん